

Tipe Koleksi: UHAMKA - Skripsi FKIP Jurusan Bahasa Jepang

Analisis Fungsi Kata Bantu Sambung GA dan KEDO Dalam Rangka Lisan yang Terdapat Pada Drama "Proposal DAISAKUSEN-OPERATION LOVE"

Nur Shoimah

Deskripsi Lengkap: <http://lib.uhamka.ac.id/detail.jsp?id=45510&lokasi=lokal>

Abstrak

キーワードは接続助詞「が」と「けど」の機能である。研究のテーマはプロポーズ大作戦‐オプレーション・ラブ‐ドラマにおける話し言葉接続助詞「か」と「けど」の分析である。この研究の目的は「プロポーズ大作戦‐オプレーション・ラブ‐」ドラマにおける話し言葉接続助詞「が」と「けど」の機能を理解するためである。その成果は日本語教育者や日本語学習者他の研究者に投稿を特に接続助詞「が」と「けど」に対して挙げることを期待している。研究の種類はクアリタティプで、方法はデスクリプティプ法を使用して、主な研究は日本ドラマ「プロポーズ大作戦‐オプレーション・ラブ‐」である。データ収集方法はまず、ドラマを探す。そして「プロポーズ

大作戦‐オプレーション・ラブ‐」ドラマを見たり聞いたり、ドラマの中で表現や状態やタイミングを書いたりする。それで日本語の文字で書いたり、通訳したり、研究に使用するビデオをカットしたりする。最後にはデータ分析である。研究の結果がドラマにおける接続助詞「が」と「けど」は170 表現があり、「が」は28 表現で、「けど」は142 表現である。因みに、収集してきた文中で接続助詞「けど」のほうが多く使った。それに、表現や意味を優しくする機能をよく使っている。筆者の発明はこのドラマにおける接続助詞「けど」は迷うことを表す表現と前の表現の賛成している表現がある。それはB.2.6－B.2.7 例の表現にある。